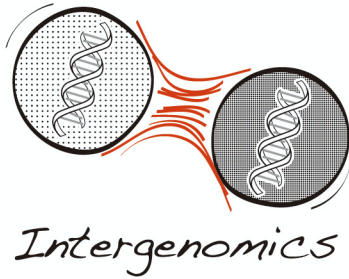


第 52 回



インターゲノミクス セミナー

神戸大学大学院・農学研究科
インターゲノミクス研究会 主催
(若手研究者育成支援経費)

日時：2月26日(金) 15時10分より オンライン(Zoom)
ゲノム編集でできた作物開発とその申請や普及について考える

15:10 ゲノム編集技術による機能性トマトの開発と未来
江面 浩 先生

(筑波大学生命環境系・つくば機能植物イノベーション研究センター)

要旨内容: CRISPR/Cas9 は、2020年のノーベル化学賞を受賞した技術であり、遺伝子情報の狙った場所の配列を自在に書き換えることができる「ゲノム編集」の一つの手法です。我々は、この技術を使い、ストレスの緩和、血圧の上昇を抑える効果のあるアミノ酸、γ-アミノ酪酸(GABA)を多く含むトマトの品種改良を行っています。品種改良されたトマトについては昨年12月11日に、農林水産省より非GM作物であるとの確認を得るとともに、厚生労働省がゲノム編集技術を使った食品として受理しており、今後、商品化に向けた取組を我々が立ち上げたベンチャー企業が行っています。本講演では、機能性トマトの開発と社会実装、ゲノム編集作物の未来について紹介したいと思います。

16:10~ 総合討論

世話人: Rym, Fekih, 山崎 将紀



お問い合わせ 松尾 栄子 (農学研究科 資源生命科学専攻 感染症制御学研究分野)
TEL: 078-803-5818 E-mail: eiko_matsuo@amethyst.kobe-u.ac.jp

山崎将紀 (農学研究科附属食資源教育研究センター)
TEL: 0790-49-3124 Email: yamasakim@tiger.kobe-u.ac.jp

共催: 神戸大学先端融合研究環